

KASAI データバンク	人口 / 48,641 (-29)	世帯数 / 16,970 (-16)	
	H21.12.31 現在 (前月比)	男 / 23,684 (-2)	女 / 24,957 (-27)
	12月の出生数 / 31人 死亡数 / 44人		



▲ランドマークタワーの展望台から

東光寺で田遊び・鬼会

上万願寺町の東光寺で1月8日、室町時代から続く伝統行事の「田遊び・鬼会」(国指定重要無形民俗文化財)が行われました。

「田遊び」では福太郎、福治郎、田主が種まきから収穫までを演じて五穀豊穡を願い、「鬼会」では鬼がたいまつを振り回し、ほこを持って悪霊や災難を追い払い、観客を魅了しました。

今回は、加西市観光まちづくり協会といこいの村はりまが共同企画した市外からの観賞ツアー(宿泊付)も盛況でした。

2010年初日の出。新春のつどい

いこいの村裏山のランドマークタワーで1月1日、加西市青少年団体連絡協議会主催による「新春のつどい」が開催され、冷え込み厳しい中、早朝から中川市長はじめ約470人が参加しました。天候に恵まれ、午前7時過ぎには、山間から昇る初日の出を拝みました。

山を下りた後、参加者は加西球場の駐車場でお雑煮を食べ、恒例のお年玉抽選会を楽しみました。



▲悪霊や災難を追い払う鬼

「さわやか市民賞」「市長感謝状」表彰

加西市は1月5日、次の皆さんに「さわやか市民賞」と「市長感謝状」をお贈りしました

■加西市さわやか市民賞

- 高濱莉乃 (兵庫教育大学附属中学校2年)
第19回兵庫県学生ピアノコンクール中学生の部「金賞」受賞
- 西脇大成 (泉小学校2年)
第53回JA共済小・中学生書道コンクール半紙の部「農林水産大臣賞」受賞

■市長感謝状

- 藤田陽子 (北条町栗田)
元加西市教育委員会生涯学習課長であった故藤田良範氏の遺族からの寄付を財源として、加西市民グラウンド観戦席に、日よけ・雨よけのサンルーフが完成しました。



▲左から藤田さん、高濱さん、西脇くん

コミュニティ・カフェ「ぶらり」でグループインタビュー

コミュニティ・カフェは、地域住民が企画・運営する、気兼ねなくおしゃべり出来る憩いの場です。市内第一号として昨年10月、上道山町に「ぶらり」がオープン、地域団練の場・地域の縁側となるべく活動されています。

先日、第5次加西市総合計画の策定にあたり、市民の皆さんの生の声を聞くため、カフェのスタッフと集まった地域の皆さんに市職員が市政インタビューをしました。

市経営戦略室(☎④8700)では、インタビューをさせていただくグループを随時募集しています。



▲インタビューの内容は市HPに掲載中

「大年神社えびす祭典」を北条鉄道でPR

12月26日から1月10日まで、北条鉄道の車両が「えべっさん」を描いたヘッドマークを付けて走行しました。

ヘッドマークは、繁栄招福を願う北条町南町の「大年神社えびす祭典」の開催をPRしようと地元町民が1週間かけて作ったもので、大きさは縦60cm横90cm。手づくりだけあってデザインはとても温かみがあり、鉄道利用者からは好評でした。

えびす祭典は1月9・10日に開催されました。



ヘッドマークは2種類。主催地区関係者と作成者の皆さん▶



新春かるた大会

1月6日、南部公民館で「新春かるた大会」が開催され、子ども9名、大人35名が参加しました。

子どもからお年寄りまで「いろはがるた」で2回戦勝負を3回。思わぬ3世代交流となり、わいわいと盛り上がり会話も弾みました。対戦後は、参加者が持ってきた餅を入れた野菜たっぷりの豚汁を堪能。公民館登録グループ生がボランティアで調理し、市民参画で行われた楽しい催しとなりました。

◀かるたを楽しむ子どもたち

みんなで挑戦「年越しそば」

中央公民館で12月23日、そば打ちグループ「ゆかいな麺々」(山本早知子代表/会員30名)を講師に迎え、そば打ち体験教室が開催され、市内外から10名が参加しました。

「ゆかいな麺々」は、全国麺類文化地域間交流推進協議会の段認定者19名(初~3段)を有する本格派。有段者の実演による手さばきを熱心に見入った後、参加者は自ら打ったちょっと早い「年越しそば」に舌鼓をうちました。



▲そばうち有段者による実演。中央は説明する山本代表



故中安徹さんの絵画展開催中

東剣坂町出身で、神戸市文化活動功労賞を受賞された画家の故中安徹さんの絵画展が、北条町の羅漢寺内ミニギャラリーで開催されています。

展示作品は、遺族より寄進された100号サイズ(160cm×120cm)などの絵画4点と絵葉書や画集。昭和22年から25年にかけて、北条小・中学校の美術教諭を務めた中安さんは、五百羅漢を題材にした絵画の制作を50年以上続けられました。作品からは、石仏の優しい表情などが伝わってきます。展示は1月31日(日)まで。羅漢寺入場には拝観料200円が必要です。

◀大きなキャンバスを使った迫力ある五百羅漢の絵画